



きのぴー先生の講演で学べること

1

子どもへの
声かけが
劇的に
通りやすくなる！

2

子どもの
自己調整力が
伸びるような
対応がわかる！

3

子どもの
行動原理がわかり
親の心が
軽くなる！

4

会場だけで
終わらない
学び場が
手に入る！

point

1

子どもの行動の裏に隠された 背景を考える力

施設で出会った子どもたちの行動は「問題」ではなく、助けを求めるサインでした。

- なぜその行動が起こるのか
 - その時の望ましい対応
 - どう声をかけると落ち着くのか
- を具体例とロールプレイでお伝えします。

point

2

子どもが自ら動き出す 「子育て手札」3選

施設での経験を通して体系化した「子育て手札」を解説します。

- 浮き輪理論(こだわりを緩める魔法の関わり方)
 - ベビーステップ(できたことが増える声かけ技術)
 - 話の聞き方4ステップ(子どもが心を開く聴き方)
- 最も反響のある3つの手札をご紹介します。



親と子が共に育つ・成長できる

子育て講座

～子どもの成長を支える関わり方のコツ～

講師 1人も見捨てない子育て手札の提案者 **きのぴー先生**

2026年6月10日(水) 令和8年度 愛知県小中学校
PTA連絡協議会 総会



1人も見捨てない子育て手札の提案者

きのぴー先生

公立小中学校にて10年間勤務。うち3年間を児童自立支援施設に併設された小中学校で勤務し、生徒指導主任を務める。さまざまな背景をもつ子どもたちと向き合う中で、子どもへの関わり方を技術として体系化。現在は教職を退き、InstagramやYouTubeを中心に1人も見捨てない子育て手札の提案者として、無料で技術を公開し続けている。現在は講演活動や個別支援も行いながら、感覚やセンスではなく、誰にでもできる関わり方を広めるべく、教育・福祉・家庭の垣根を超えて活動を展開中。



使命

正解よりも 手札をふやす

子育てには、たったひとつの正解はありませんが、正解になりうる手札を示すことは、批判覚悟でとても大切なことだと考えています。「こうしてみよう」と思える選択肢があれば、人はまた前に進めます。正しさを語るのではなく、親と子のあいだに「新しい手札」を増やしていきます。

展望

子育てをひとりごとに しない社会へ

子育てをしていると「どうすればいいんだろう」と悩み考える夜があるかと思います。けれど、その声は多くの場合、誰にも届かないまま消えていきます。ひとりで抱える子育てから、みんなで育ち合う子育てへ。それが、私たちの描く未来です。

価値観

子育てに 技術を

子どもを思う気持ちは、説明のいらないほど深いものです。だからこそ、理想を追いすぎて、苦しくなることもあります。「わかってほしい」「いい子でいてほしい」そう願うのは、「愛しているあかし」です。その想いが届きやすくなるように、私たちは「技術」を伝え続けます。